

APIC Visore ツールについて

内容

[概要](#)

[クラス名または DN の取得](#)

[APIC GUI からの「Show Debug Info」の有効化](#)

[URL](#)

[API インспекタの表示](#)

[エンドポイントグループ \(EPG \) ファイル](#)

[クエリの実行](#)

[例 1 - DN](#)

[例 2 - クラス](#)

[Visore フィルタ](#)

[最後のクエリの URI の表示](#)

[最後の応答の表示](#)

[クラス オブジェクト名](#)

[ツールバー](#)

[左矢印](#)

[右矢印](#)

[統計情報](#)

[障害](#)

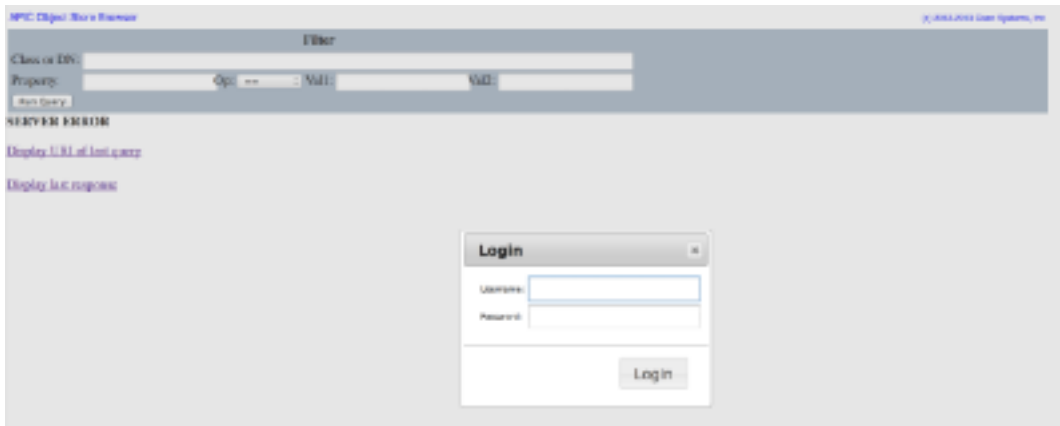
[状態](#)

概要

このドキュメントでは、Application Policy Infrastructure Controller (APIC) のオブジェクトストアブラウザである Visore について説明します。Visore を使用すると、ブラウザでいずれかの APIC または物理スイッチの IP アドレスにアクセスした場合、管理対象オブジェクト (MO) に対して直接クエリを実行できます。通常は、一般に HTTPS (デフォルト) である APIC を指しますが、設定により HTTP にすることもできます。

`https://<APIC or Switch IP ADDRESS>/visore.html`

それ以降、デバイスで有効なクレデンシャルを使用してログインするように求められます。



デフォルトでは、APIC Visore にログインすると、fabricNode クラスのすべての MO の検索結果が表示されます。

Filter







Class or DN:

Property: Op: Val1: Val2:

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

Total objects shown: 124

fabricNode ?	
adSt	on
childAction	
delayedHeartbeat	no
dn	topology/pod-1/node-120 < >   
fabricSt	active
id	120
lcOwn	local
modTs	2014-08-04T12:35:59.674-07:00
model	N9K-C9396PX
monPolDn	uni/fabric/monfab-default < >   
name	scale2-leaf20
role	leaf
serial	
status	
uid	0
vendor	Cisco Systems, Inc
version	
fabricNode ?	

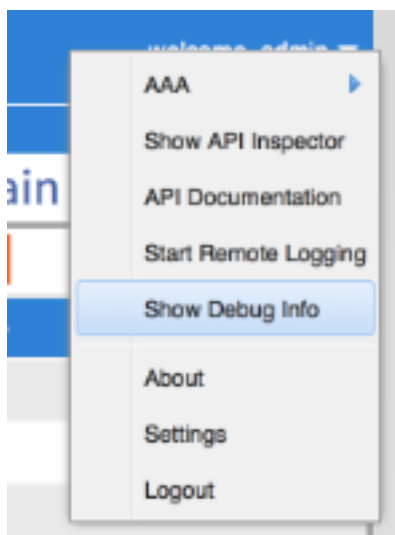
クラス名または DN の取得

オブジェクトのクラス名 (CN) または識別名 (DN) を見つけるために使用できる方法が 4 つあります。

APIC GUI からの「Show Debug Info」の有効化

[Welcome, <userid>] をクリックし、[Show Debug Info] を選択して、デバッグ情報を有効にしま

す。

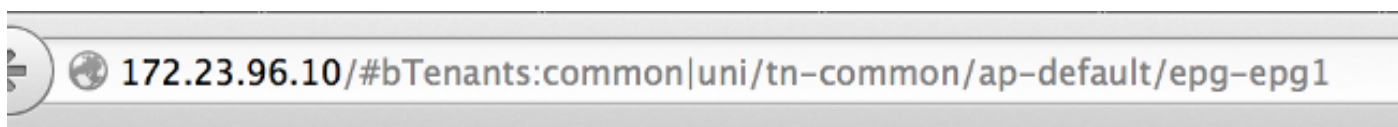


有効にしたら、GUI の付近をクリックすると、左下隅の画像内にテキストが表示されます。これを使用して、必要な情報を見つけることができます。注意する必要があるのはテキストの後半の、「Current MO」から始まる部分です。これは、表示されている現在の MO です。クラス名は「model.def.fvAEPg」の後のセクションにあり、実際の名前は「model.def」の後です。この例では「fvAEPg」です。さらに、DN は角括弧 [] の中に表示されます。この例では、DN は「uni/tn-common/ap-default/epg-epg1」です。



URL

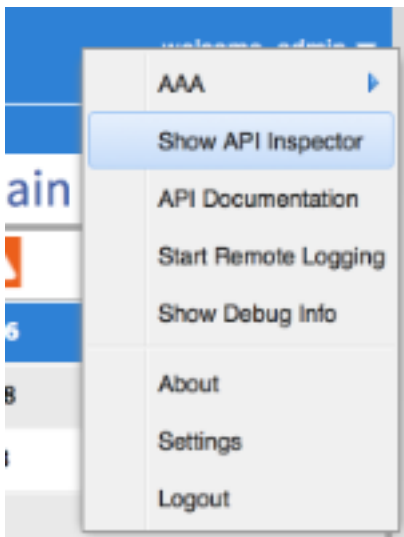
GUI 内のリンクをクリックすると、URL が更新され、APIC GUI 内の位置が反映されます。これから、DN を取得できます。URL 内の縦棒 (|) を指定します。これはデバッグ方法によって取得されたものに一致することがわかります。



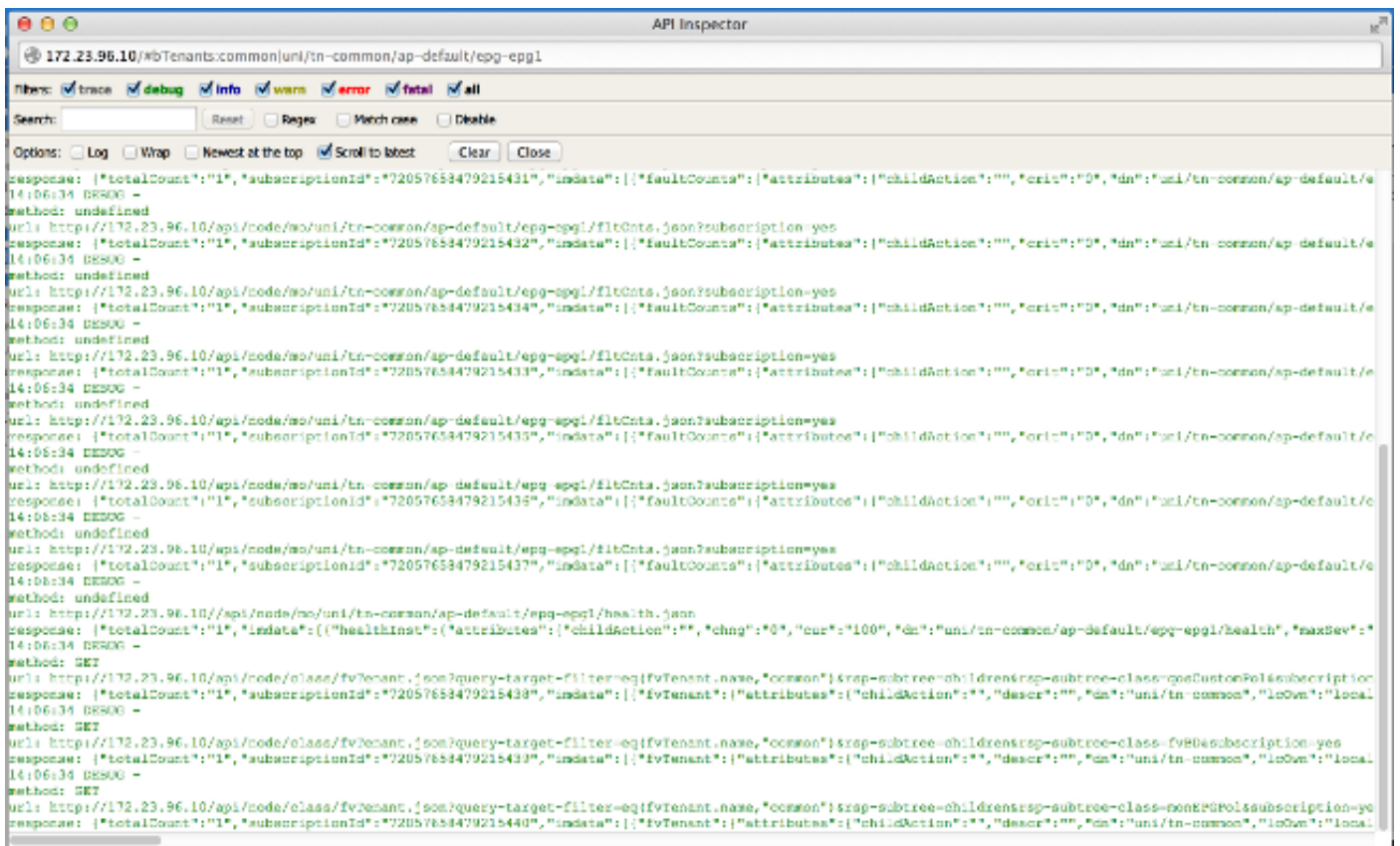
API インспекタの表示

show API inspector コマンドを入力して、実行される API コールを確認します。

[Welcome, <userid>] をクリックし、[Show API Inspector] を選択して、API インспекタを有効にします。



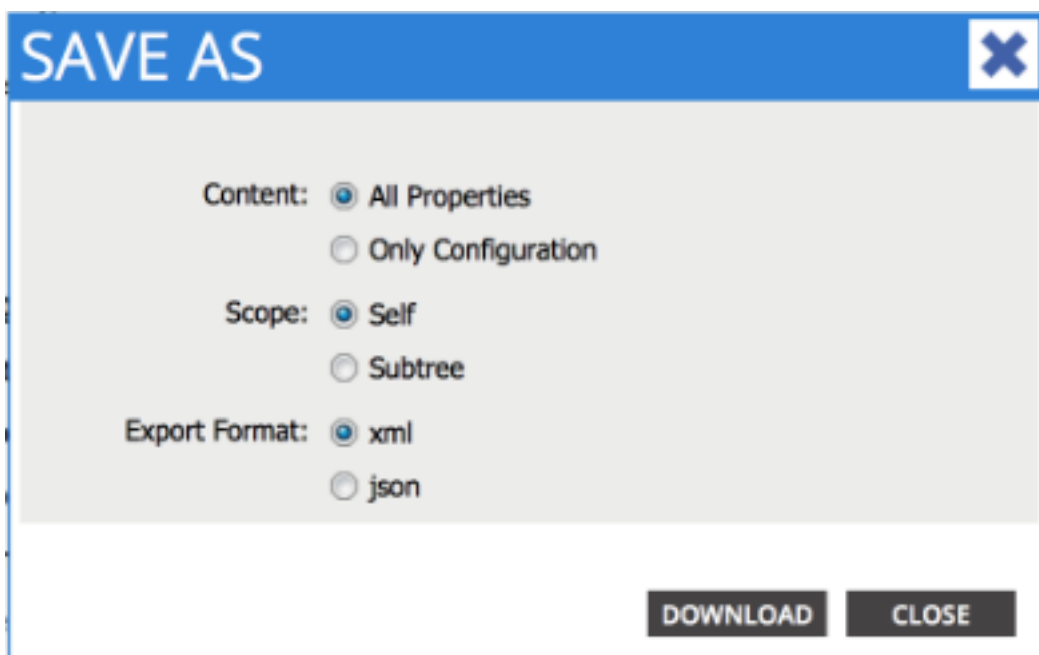
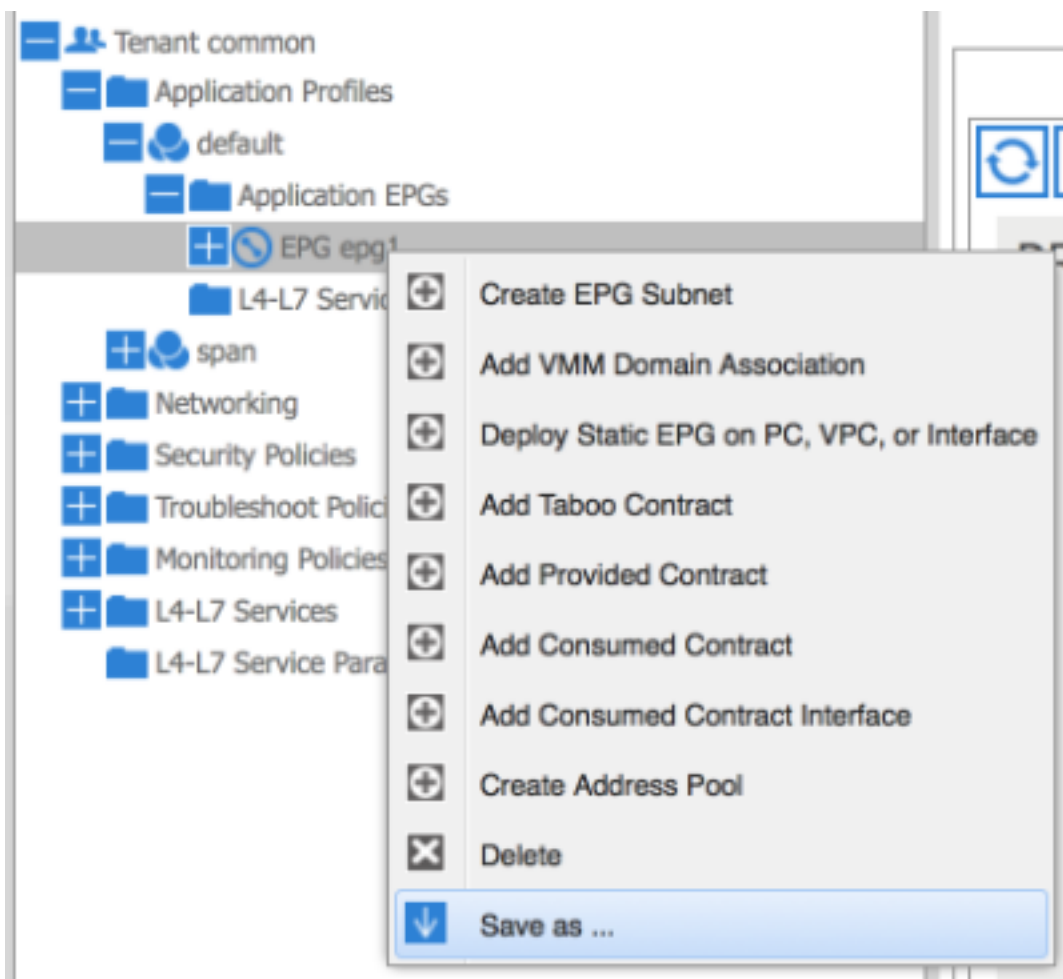
この出力から、APIC に対して GUI により実行される未加工の API コールを確認します。使用される API URL 内で指定されているので、DN が「uni/tn-common/ap-default/epg-epg1」であることを判別できます。具体的には、「http://172.23.96.10/api/node/mo/uni/tn-common/ap-default/epg-epg1/」です。これを分解すると、APIC の IP アドレス、「api/node/」というディレクトリ構造、「class」の代わりに「MO」への呼出し、DN と続きます。



エンドポイントグループ (EPG) ファイル

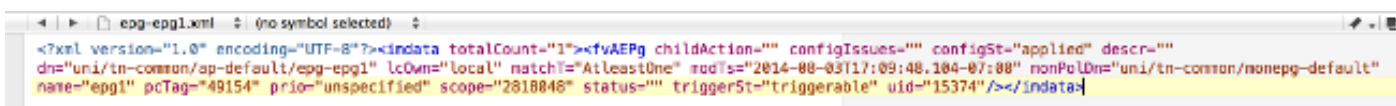
ポリシーを右クリックし、ポリシーを保存して、保存された XML ファイルを開きます。

最後に、選択したポリシーを右クリックすると、クラスおよび DN の情報を取得できます。[Save as] を選択して、ファイルのダウンロードに進みます。この例では、ファイルは XML ドキュメントとしてエクスポートされます。



ファイルがローカル ファイル システムにダウンロードされたら、任意のエディタで開きます。ファイルが開いたら、XML/JSON を確認して、クラスおよび DN を判別できます。

同じ例で、クラスが青で強調表示され、「fvAEPg」と等しいことを確認できます。さらに特定のテキスト「dn='uni/tn-common/ap-default/epg-epg1'」を確認できます。



クエリの実行

前項の 4 つの方法のいずれかで確認した詳細情報を使用し、Visore で MO の詳細をさらに検証します。

クエリを実行するには、クラスまたは DN を入力します。







例 1 - DN

APIC Object Store Browser

Filter				
Class or DN:	<input type="text" value="uni/tn-common/ap-default/epg-epg1"/>			
Property:	<input type="text"/>	Op: <input style="border: 1px solid gray; border-radius: 3px; padding: 2px 5px; font-size: 0.8em; font-family: sans-serif; background-color: #f0f0f0; text-align: center; width: 40px; vertical-align: middle;" type="text" value="=="/> ⇅	Val1: <input style="width: 150px;" type="text"/>	Val2: <input style="width: 150px;" type="text"/>
<input type="button" value="Run Query"/>				

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

fvAEPg		?
childAction		
configIssues		
configSt	applied	
descr		
dn	uni/tn-common/ap-default/epg-epg1 < >   	
lcOwn	local	
matchT	AtleastOne	
modTs	2014-08-03T17:09:48.104-07:00	
monPolDn	uni/tn-common/monepg-default < >   	
name	epg1	
pcTag	49154	
prio	unspecified	
scope	2818048	
status		
triggerSt	triggerable	
uid	15374	

例 2 - クラス

このクラスを検索すると、Visore はこのクラス タイプのすべてのオブジェクトを返します。このシステムには、クラス タイプ「fvAEPg」のオブジェクトが 1615 個あることがわかります。

APIC Object Store Browser

Filter







Class or DN:

Property: Op: Val1: Val2:

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

Total objects shown: 1615

fvAEPg ?	
childAction	
configIssues	
configSt	applied
descr	
dn	uni/tn-infra/ap-access/epg-default < >   
lcOwn	local
matchT	AtleastOne
modTs	2014-08-03T16:43:28.938-07:00
monPolDn	uni/tn-common/monepg-default < >   
name	default
pcTag	49153
prio	unspecified
scope	16777199
status	
triggerSt	triggerable
uid	0
fvAEPg ?	

Visore フィルタ

以前は、「fvAEPg」というクラス タイプで検索した場合、結果として 1615 個のオブジェクトが返されましたが、この検索を絞り込むことができます。たとえば、アプリケーション プロファイ

ル「ap-default」内にあるオブジェクトのみを対象にする場合を考えます。これは DN に含まれているため、次のように DN でフィルタリングできます。

APIC Object Store Browser

Filter				
Class or DN:	fvAEPg			
Property:	dn	Op:	contains	Val1: ap-default Val2:
<input type="button" value="Run Query"/>				

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

fvAEPg		?
childAction		
configIssues		
configSt	applied	
descr		
dn	uni/tn-common/ap-default/epg-epg1 < > ! H	
lcOwn	local	
matchT	AtleastOne	
modTs	2014-08-03T17:09:48.104-07:00	
monPolDn	uni/tn-common/monepg-default < > ! H	
name	epg1	
pcTag	49154	
prio	unspecified	
scope	2818048	
status		
triggerSt	triggerable	
uid	15374	

このアプリケーション プロファイルに追加の EPG がないため、単一の結果が返されます。また、「fvAEPg」に対する元の検索から、「epg」を含むすべての EPG を検索すると、リストを 873 個に絞り込むことができます。

Filter			
Class or DN:	fvAEPg		
Property:	name	Op: contains	Val1: epg Val2:
<input type="button" value="Run Query"/>			

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

Total objects shown: 873

fvAEPg		?
childAction		
configIssues		
configSt	applied	
descr		
dn	uni/tn-common/ap-default/epg-epg1 < > ! H	
lcOwn	local	
matchT	AtleastOne	
modTs	2014-08-03T17:09:48.104-07:00	
monPolDn	uni/tn-common/monepg-default < > ! H	
name	epg1	
pcTag	49154	
prio	unspecified	
scope	2818048	
status		
triggerSt	triggerable	
uid	15374	
fvAEPg		?

最後のクエリの URI の表示

これは API を使用して再生する場合に便利です。Visore により実行される実際のコールを確認できます。API インスペクタを使用して同様の情報を見つけることができます。

APIC Object Store Browser

Filter

Class or DN:

Property: Op: Val1: Val2:

[Display URI of last query](#)

```
/api/node/mo/uni/tn-common/ap-default/epg-epg1.xml?query-target=self
```

APIC Object Store Browser

Filter

Class or DN:

Property: Op: Val1: Val2:

[Display URI of last query](#)

```
/api/node/class/fvAEPg.xml?
```

最後の応答の表示

これは、返された最後の応答の未加工の XML 出力を提供します。これは、Visore ツールが返したもので、次の表出力形式でメッセージ化されています。他の種類の変換/変更は実行されません。

。

APIC Object Store Browser © 2012-2015 Cisco Systems, Inc.

Filter

Class or DN:

Property: Op: Val1: Val2:

[Display URI of last query](#)

[Display last response](#)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?><imdata totalCont=1"><fvAEPg childAction="" configIssues="" configSt="applied" descr="" dn="uni/tn-common/ap-default/epg-epg1" locOwn="local" matchT="AtleastOne" modTs="2014-08-03T17:09:48.104-07:00" monPolDn="uni/tn-common/monepg-default" name="epg1" peTag="49154" prio="unspecified" scope="2818048" status="" triggerSt="triggerable" uid="15374"/></imdata>
```

クラス オブジェクト名

[Class Object Name] をクリックして、新しい検索を実行し、特定のクラス タイプのすべてのオブジェクトを返します。

[?] (疑問符) をクリックして、特定のクラス タイプのモデル プロパティの詳細を表示します。これは非常に詳しく、オブジェクト モデルについて理解するのに便利な方法です。このヘルプの上部に、このクラスの詳細情報にアクセスするリンクがあります。

Class fv:AEPg (CONCRETE)

Class ID:1981
 Class Label: Application EPG
 Encrypted: false - Exportable: true - Persistent: true - Configurable: true
 Write Access: [admin, tenant-epg, tenant-network-profile]
 Read Access: [aaa, access-connectivity-1, access-connectivity-2, admin, fabric-protocol-mgmt, nw-svc-device, nw-svc-policy, tenant-connectivity-1, tenant-connectivity-3, tenant-connectivity-mgmt, tenant-connectivity-util, tenant-epg, tenant-network-profile, tenant-protocol-1, tenant-security, vmm-policy]
 Semantic Scope: EPG
 Semantic Scope Evaluation Rule: Parent
 Monitoring Policy Source: Explicit
 Monitoring Flags : [IsObservable: true, HasStats: true, HasFaults: true, HasHealth: true]

A set of requirements for the application-level EPG instance. The policy regulates connectivity and visibility among the end points within the scope of the policy.

ツールバー

この項では、ツールバーの各アイコンの説明を、左から右へ説明します。



左矢印

左矢印は管理対象オブジェクトの親を表示する新しい検索を実行します。

右矢印

右矢印は管理対象オブジェクトの子を表示する新しい検索を実行します。

統計情報

オブジェクトでサポートされている場合、オブジェクトの追加リストをクエリの下に返し、関連付けられた統計情報を表示します。

障害

オブジェクトでサポートされている場合、オブジェクトで発生したエラーが表示されます。

状態

選択された DN の HealthScore 「healthInst」を現在のクエリの下に付加します。

